



# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設課 (H26 建設農政課)		No.	1
事業名	土地改良事業			
総合計画の 体系	大分類	2	未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	小分類	(2)	環境と共存した産業の発展	
目的	農業経営の合理化を図るため、用排水路の計画的な維持管理を行う。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化の進んだ土地改良施設の更新を行い、農業労力の軽減、農業用車両の安全確保及び、用排水路の通水不良の改善等、農業経営の合理化を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路、河川及び橋りょう工事を含め合理的に整備ができるように計画的な改修及び修繕計画を立てる。</li> <li>・用水路のパイプライン化の調査検討</li> <li>・排水路敷きの緑化調査検討</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化が進み、要修繕箇所が増大している。営農に支障をきたす箇所においては緊急的に修繕を発注する必要があるため、計画的な維持修繕が困難な状況にある。</li> <li>また、近年の財政状況により、広域のかつ段階的に整備が出来ない状況にある。</li> <li>・県営土地改良事業(合瀬川地区)により荒井堰掛りのパイプラインが完成しているが、開水路からの切り替えが進んでいない。</li> </ul>			
平成 26 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急的な地区を選定し、計画的かつ合理的に整備していく。</li> <li>・平成 24 年度に作成した台帳を利用し、用排水施設の修繕計画の策定</li> <li>・区要望に対する早期回答</li> <li>・荒井堰かかりのパイプラインについて、中干し以降に尾張農林、木津用水と通水確認をし、切り替え準備を進める。</li> </ul>			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ～ 7	用排水路保守点検委託業務発注 用水管理
9	単独土地改良事業の認可申請 認可（予定）
11	認可受けた施設の改修工事の発注
12 3	完了

## □3年間の目標

目標	平成24年度に作成の用排水路施設台帳を基に、平成26年度は引き続き維持管理（改修・修繕・補修）計画を策定する。平成27年度以降は、事業計画に沿って、事業実施を行う。（達成年次未定）					
項目（単位）	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画	H27目標	H28目標
用排水路施設台帳整備		作成				
維持管理計画策定				策定	事業実施	事業実施

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27年度	維持管理計画に沿った事業実施
H28年度	維持管理計画に沿った事業実施

## ■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	30,506	49,423	33,434
(内特定財源)		千円	5,220	9,861	8,941
人工	職員	人工	0.40	0.40	0.50
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.40	0.40	0.50

## ■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
単独土地改良事業費補助金	8,940	
大瀬川堰維持管理負担金	1	
合計	8,941	

## ■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
15	農道、農業用排水安全対策等 施設整備工事費	25,500	△8,369	県費補助額の減額(要望額)によるもの
19	県営土地改良事業	352	△128	県営水質保全対策事業の縮小によるもの
19	土地改良施設耐震事業	0	△648	事業費負担が国費 100%となったことによる

## ■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)を目指し、補助金等を効果的に活用し施設の延命を図る。

単独土地改良事業縮小のため維持管理計画を策定する。

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- 施設の老朽化など著しい通水不良と判断される区間を選定し、土地改良施設の整備を行った。
  - ・単独土地改良事業（県補助）として、用水路の改修をL=494.8mを施工。
  - ・取水口・排水口等の農業施設の老朽化に伴う不良個所の維持工事を行った。
- 用排水施設の修繕計画の策定にあたっては、地元要望などの意見を取り入れながら早期に効果があげられる計画の策定に努めた。
- 未利用区間のパイプラインを早期に利用できるように、愛知県及び木津用水土地改良区と調整を行った。

## ■評価

- 施設の更新を行うことで、農作業労力の軽減と農業用車両の安全確保及び用排水路の通水不良の改善され、農業経営の合理化を図ることができた。
- 用排水路修繕計画の策定については、地元要望箇所の把握と他事業との調整を行ったが、具体的な計画の策定には至らなかった。
- 未利用区間のパイプラインの早期利用については、平成27年度に試験通水できるように愛知県及び木津用水土地改良区と協議を行い、平成27年度に実施できる見込みとなった。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	建設課（H26 建設農政課）		No.	2
事業名	道路維持管理事業			
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保	
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、道路施設の長寿命化を図る。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舗装、道路維持修繕等工事</li> <li>・ 道路樹木の維持管理</li> <li>・ 道路台帳更新業務</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民団体による道路樹木の時管理</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における 経過又は課題	<p>道路、道路付属施設などの公共土木施設を建設し、管理してきましたが、多くの施設が近い将来、更新(つくり直す)しなければならない時期が到来することが懸念されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設点検とデータ整理による状況把握と評価</li> <li>・ 求められる性能を念頭とした管理水準の設定</li> <li>・ 劣化予測による将来の状況、性能の推定</li> <li>・ 中長期管理計画の策定(予算の平準化やコストの縮減を考慮した最適な維持管理計画)</li> </ul>			
平成 26 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算の平準化を考えた長期的な主要町道舗装修繕計画に基づき、修繕実施(交付金事業)。</li> <li>・ 予算の平準化を考えた中期的な道路付属物修繕計画を策定のため、点検業務を行う。</li> <li>・ 区要望に対する早期回答</li> <li>・ 舗装工事について占用工事の舗装復旧と調整を行い生活道路の快適性を向上する。</li> </ul>			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	道路樹木維持管理業務の年間契約 平成 26 年度維持管理工事実施計画策定
5~3	道路台帳更新業務 道路ストック総点検に基づく、道路付属構造物（照明、看板）の点検業務を実施。 交付金事業で主要町道（大口桃花台線、南北線）の舗装修繕を実施。
随時	舗装、道路維持修繕等工事

## □3 年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要町道舗装修繕計画に基づく修繕実施</li> <li>・通学路の安全対策</li> </ul>					
項目（単位）	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標
主要町道舗装修繕計画		計画策定	計画策定	計画実施	計画実施	計画実施
通学路の安全対策		計画実施	計画実施	計画実施	計画実施	計画実施

## □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要町道舗装修繕計画に基づく工事の実施</li> <li>・通学路の安全対策</li> </ul>
H28 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要町道舗装修繕計画に基づく工事の実施</li> <li>・通学路の安全対策</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	114,252	109,182	129,792
(内特定財源)		千円	16,666	17,682	43,302
人工	職員	人工	3.26	1.50	1.40
	臨時職員	人工	1.00	2.00	2.00
	計	人工	4.26	3.50	3.40

## ■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
道水路占用料	15,502	道路維持管理事業
社会新整備総合交付金(防災・安全)	27,500	道路維持管理事業
合計	43,302	

## ■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	道路台帳更新作業委託料	5,033	852	H25 年度中に宅地開発に伴う管理移管された新規路線が多いため。
13	道路維持管理等委託料	1,221	148	集落内清掃に伴う搬出量の増大による。
13	道路側溝浚渫委託料	7,517	928	集落内清掃に伴う搬出量の増大による。
15	道路工事費	104,000	18,500	交付金事業による主要町道舗装修繕実施のため。



## ■特記事項

舗装修繕計画を策定することにより、主要町道の長寿命化を図るとともに工事費が補助対象となる。又、道路ストック総点検として、各自治体は、管理する全ての橋梁の他、トンネル、舗装、道路付属物（標識、照明施設等）、道路法面等の点検を行うことが義務付けられているが、当町ではトンネル及び法面は該当がないため、道路維持管理事業の中では、道路付属構造物の点検を行うこととしている。

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- 主要町道舗装修繕計画に基づき、舗装工事を行った。
  - ・社会資本整備交付金事業（国補助）として、舗装修繕工事 L = 4, 277 m<sup>2</sup>を施工（町道南北線、町道大口桃花台線の2路線）。
- 町単独事業として、カーブミラーやガードレール等の道路施設の修繕工事を行った。
- 道路付属物修繕計画を策定するため交差点照明灯及び大型道路標識の点検を行った。
- 緊急修繕対応となる随時区要望（舗装部分修繕。道路反射鏡の修繕や設置等）については、現場確認のうえ速やかに対応した。
- 舗装工事における占用工事との調整については、掘り返し規制等の条件と照らし合わせながら行った。
- 道路樹木及び河川敷併用道路部分の維持管理について、地元8団体と低木管理や除草作業の委託契約を行った。

## ■評価

- 舗装修繕計画に基づき工事を行ったことにより、計画的な修繕を行うことができ予算の平準化が図られた。また、道路の修繕工事により歩行者や通行車両の安全の確保を図ることができた。
- 道路付属物点検として、交差点照明灯 N = 57基、大型道路標識 N = 7基の調査点検を行った結果、修繕を要するものとして、交差点照明灯 N = 1基であった。
  - 上記の点検により、道路付属物の安全確認と早期に修繕できるように計画を策定することができた。
- 地元8団体との委託契約することで、コストの縮減が図られたと共に、住民による自主的な管理によることで、適時に作業が行えることで、道路環境の向上や安全面の意識の向上につながった。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設課（H26 建設農政課）		No.	3
事業名	道路整備事業			
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保	
目的	道路の改良により、安全で安心な生活環境を確保する。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路用地の購入</li> <li>・ 道路拡幅、改良工事の設計</li> <li>・ 道路拡幅、改良工事の施工</li> </ul>			
現在における 経過又は課題	限られた資金の中で、交通上の安全や良好な生活環境を確保するために歩道や側溝の整備、用地の取得を行わなければならない。			
平成 26 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中期的な歩道整備等道路整備計画の策定</li> <li>・ 区要望に対する早期回答</li> </ul>			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路用地の購入</li> <li>・ 道路改良工事の設計、施工（用地、用水時期等条件の整ったものから） 町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事） 町道高橋替地線の歩道拡幅工事（用地購入及び補償は H25 繰越） 町道豊田 22 号線改良工事（継続工事）</li> </ul>

## □3 年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事）</li> <li>・</li> </ul>					
項目（単位）			H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標
大口桃花台線歩道切下	H12～ 16	H18～ 19	継続	継続	R41 以東	

## □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事）</li> <li>・</li> </ul>
H28 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	153,640	119,214	45,268
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.42	0.75	0.60
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.42	0.75	0.60

## ■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	用地測量	0	△4,843	地元調整が整った場合計上 職員人工数と事業量の適正化
15	工事請負費	43,890	△51,445	地元調整が整った場合計上 職員人工数と事業量の適正化
22	物件補償等	1,378	△14,090	地元調整が整った場合計上 職員人工数と事業量の適正化

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- 区要望により道路拡幅等の見込みができた3路線に対して、用地現況測量を実施。
- 道路改良工事として、町道秋田57号線の拡幅工事をL=74.5m施工した。
- 南小学校区の通学路の安全確保のため町道高橋替地線に歩道設置(改良)工事を施工した。また、バリアフリー化を図るため町道大口桃花台線の歩道改良工事を施工した。
- 国道41号線と町道内津々線の平面交差点化へ向けて、愛知国道事務所及び愛知県公安委員会との協議を行った。

## ■評価

- 道路改良(拡幅)工事により交通安全対策が図られ、利用者の利便性と安全性が向上した。
- 歩道改良工事(町道大口桃花台線、町道高橋替地線)により、歩道幅員の確保と段差の解消が図られ利便性と安全性が向上した。
- 国道41号線拡幅工事に伴う町道内津々線との交差点協議については、引き続き協議することとなった。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設課（H26 建設農政課）		No.	4
事業名	橋りょう維持管理事業			
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保	
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、橋りょうの長寿命化を図る。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋りょうの長寿命化修繕計画の策定</li> <li>・ 橋りょうの修繕工事の設計</li> <li>・ 橋りょうの修繕工事の施工</li> <li>・ 橋りょうの維持管理</li> </ul>			
現在における 経過又は課題	<p>既存の管理橋梁の多くは高度経済成長期に建設され、老朽化が進行している。これらの橋梁について適切な維持管理のもと長寿命化を図るため、H22.23年度に橋長15m以上の橋梁及び1・2級町道及び緊急輸送道路にかかる橋長2m以上の橋について現状把握の橋梁点検を行い、H24年度には、この点検結果を用いH24に橋梁長寿命化修繕計画策定を実施している。</p> <p>10年間の修繕（等）計画では予算の平準化した金額を計上しているが、このほか、架け替え相当判定の橋があること、また、点検は5年ごとに行うこととなっており、予算の確保について留意する必要がある。</p>			
平成26年度の 目標又は 改善策	<p>H24年度に作成した修繕計画に基づき、今年度から交付金事業として修繕を開始する。今年度修繕橋梁についての、詳細設計がないため、詳細設計を早期発注し、下半期の修繕工事発注及び施工に支障がないようにする。また、次年度の修繕橋梁についても今年度中に詳細設計を施行し、次年度の交付申請額を固めておく。</p>			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4~9	H26 修繕対象橋梁の詳細設計 H27 修繕対象橋梁の詳細設計
10 ~3	H26 修繕対象橋梁の修繕工事

## □3年間の目標

目標	・・・					
項目（単位）	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標
橋梁長寿命化修繕計画	点検	策定			点検	点検
橋梁修繕				実施	実施	実施

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化修繕計画に基づき修繕（交付金事業）</li> <li>・長寿命化修繕計画に基づき H22 点検橋梁の 2 回目点検（交付金事業）</li> </ul>
H28 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化修繕計画に基づき修繕（交付金事業）</li> <li>・長寿命化修繕計画に基づき H23 点検橋梁の 2 回目点検（交付金事業）</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	2,415	500	34,374
(内特定財源)		千円	1,100	0	6,600
人工	職員	人工	0.36	0.25	0.25
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.36	0.25	0.25

## ■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
橋りょう修繕事業費補助金	6,600	橋りょう維持管理事業
合計	6,600	

## ■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	長寿命化修繕設計	11,567	11,567	H26.27 年度修繕橋梁の詳細設計費
15	橋りょう維持工事費	22,807	22,307	長寿命化修繕計画に基づく H26 年度修繕

## ■特記事項

H26 年度以降は、長寿命化修繕計画に基づく修繕及び 5 年ごとの点検業務を行うことになるため、毎年 1500 万円程度の橋梁維持管理事業費が必要になる。これに加え、雉子野橋の架け替えを検討しなければならない(費用以外に西武線の交通確保あるいは通行止め等の検討も必要)。

これ以外に、道路ストック総点検により各自治体は管理橋梁全てについても、同様の点検を行うことが義務付けられている。H26 当初予算では点検費用が確保できていないが、国、県からは点検状況調査と指導が行われる見込みであり、実施に向け計画を立てなければならない。



## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

○交付金事業として、巾下川7号橋及び西河原橋、町単独事業として、郷前橋及び秋葉小橋 以上の4橋の修繕を行った。

修繕の内容として

- ・巾下川7号橋・伸縮装置取替工、断面補修工、舗装工・防水工及び塗装塗替工（排水管、桁、支承）
- ・西河原橋・・・舗装工・防水工及び塗装塗替工（排水管）
- ・郷前橋・・・断面補修工、舗装補修工、排水管補修工及び塗装塗替工（防護柵）
- ・秋葉小橋・・・舗装工・防水工及び塗装塗替工（排水管、防護柵）

○橋りょう補修設計業務として、平成27年度以降の補修工事に支障とならないように業務を委託した。

業務内容として

- ・五条橋始め17橋の詳細設計

## ■ 評価

○橋りょう修繕工事により

- ・断面損傷個所の補修による断面損傷個所拡大の防止
- ・舗装工・防水工の施工によって、雨水浸透による主桁の劣化防止
- ・塗装塗替工による防護柵、排水管等の腐食の防止

等の対策を行い、橋りょうの長寿命化を図ることができた。

○橋りょう補修設計業務による詳細設計を早期に作成することで、平成27年度以降の橋りょう修繕工事の適正な執行を図ることができた。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	建設課 (H26 建設農政課)	No.	5
事業名	橋りょう整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、橋りょうの架け替え、拡幅、歩道設置等を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋りょうの整備工事の設計</li> <li>・ 橋りょうの整備工事の施工</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		
現在における 経過又は課題	H24 年度に作成した橋梁長寿命化修繕計画において、架け替え相当とした橋梁が1橋（雉子野橋）ある。このほかにも、修繕対応としている橋のうち、架け替えが相当と判断すべき橋（竹橋歩道橋）も1橋ある。これらの橋の架け替え計画について、事業費算定とともに、周辺交通への影響も精査する必要がある。		
平成 26 年度 の目標又は 改善策	無し		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	無し

## □3年間の目標

項目（単位）	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画	H27目標	H28目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁整備を実施する。</li> <li>・</li> </ul>					
橋梁長寿命化修繕計画策定	点検	策定				
橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁整備						計画

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27年度	
H28年度	・ 長寿命化修繕計画で架け替え相当の橋の事業計画立案

## ■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.00	0.00	0.00

## ■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

長寿命化修繕計画では H30 年に配置している雉子野橋の架け替え計画については、周辺事業所の交通確保について検討のうえ、方策が決まってからの着手となる。

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

特になし

## ■ 評価

特になし

# 建設農政課事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設課 (H26 建設農政課)	No.	6
事業名	河川排水路維持管理事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の維持管理を行うとともに長寿命化を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 側溝横断管等浚渫</li> <li>・ 住民団体への河川排水路の除草作業の委託</li> <li>・ 河川敷併用道路の草刈業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川排水路の維持管理工事</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<p>河川、排水路施設を建設し管理してきたが、多くの施設が近い将来、更新(つくり直す)しなければならない時期が到来することが懸念されている。</p> <p>組立水路の老朽化が進み豪雨時に破損することがある。</p> <p>道路側溝、排水路の暗渠化に伴い浚渫要望箇所が増えている。また、開水路においても多量の堆積物、雑草により流下能力が低下する施設がある。</p>		
平成 26 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地改良事業で実施予定の用排水路長寿命化計画の中で、予算の平準化を考えた長期的な排水路修繕計画を策定する。</li> <li>・ 区要望に対する早期回答</li> <li>・ 大口北小学校河北区通学路となる区間において H26 年度から河北クラブが草刈り作業に加わる。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ~6	各区側溝清掃土砂回収
6~	側溝横断管浚渫の実施（年間通じ） 住民団体による河川敷道路の除草（年間通じ） 業者委託による河川敷道路の除草

## □3年間の目標

目標	・・・					
項目（単位）	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画	H27目標	H28目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27年度	・
H28年度	・

## ■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	9,050	8,992	8,584
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.26	0.55	0.50
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.26	0.55	0.50

## ■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	河川排水路敷除草作業委託料	2,599	△1,001	作業発注対象区間の精査
13	用排水路浚渫委託料	3,985	593	浚渫土砂処分費適正化

## ■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)をめざす。



## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 河川排水路敷除草作業として、五条川、巾下川、境川、矢戸川等河川敷や水路敷の除草作業を行った。特に、地元住民団体（9団体）による除草作業が行われた。
- 排水路の浚渫工事を委託した。
- 河川排水路の修繕工事を行った。

## ■ 評価

- 河川排水路敷除草作業により、河川環境の向上と雑草による交通障害の軽減が図られた。
- 排水路の浚渫により、生活環境の維持と排水路通水断面が確保されことにより、排水機能の維持が図られた。
- 河川排水路の修繕を行い、排水路の機能維持と転落防止柵の設置による危険個所の解消を図った。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設課（H26 建設農政課）	No.	7
事業名	河川排水路整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の整備を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川排水路の改良工事の設計</li> <li>・ 河川排水路の改良工事の施工</li> <li>・</li> </ul>		
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豪雨時に流下能力が不足する水路があり、老朽化した組み立て水路においては破損することがある。</li> <li>・ 接続する下流河川、排水路の流下能力が不足する場合がある。</li> </ul>		
平成 26 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地改良事業で実施予定の用排水路長寿命化計画との整合を図り、長期的な排水路改修計画を策定する。</li> <li>・ 外坪五丁目地内排水路について、流れが悪く常時水が溜まっている状態であるため改修する。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
10	排水路改修工事実施

## □3年間の目標

目標	・・・					
項目（単位）	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画	H27目標	H28目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27年度	・
H28年度	・

## ■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	3,684	10,500	3,000
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.22	0.30	0.30
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.22	0.30	0.30

## ■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
15	工事請負費	3,000	△7,500	H24.25 に秋田地区排水路を集中的に回収する必要があったため。

## ■特記事項

排水路の改修工事をすすめ、豪雨時における越水、破損の防止をめざす。

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

○老朽化し通水不良となった2地区の排水路改修工事を行った。

## ■ 評価

○排水路の法面コンクリートを施工することにより、通水断面を確保することで通水不良個所の解消が図られた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設課（H26 建設農政課）		No.	8
事業名	調整池維持管理事業			
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保	
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、調整池の長寿命化を図る。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調整池の修繕工事の設計</li> <li>・ 調整池の修繕工事の施工</li> <li>・ 調整池の維持管理</li> </ul>			
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余野1号調整池ポンプが排水完了前に停止する状況が続いたため、H25年度には、のポンプ分電盤修繕を行い、余野2号調整池のポンプについても取替修繕を行った。この他、余野神社前調整池についても水位計エラーとなっているため、H26年度はポンプ分電盤修繕を予定しているが、施設の老朽化に伴い修繕が増えてくると恐れ、点検により不具合の早期解消をしていかなければならない。</li> <li>・ 県施設である奈良子川調節池と昭和川調整池については、一宮建設事務所から維持管理委託を受託している。※昭和については、2年ごとに江南市と交替</li> </ul>			
平成26年度の 目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期点検結果に基づき適正に維持管理を行う。</li> <li>・ 余野神社前調整池の分電盤修理を行う。</li> </ul>			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ~3	<p>奈良子川調節池、昭和川調節池の維持管理 うち、奈良子川調整池は地元団（大口環境を守る会）体に維持管理委託している。</p> <p>余野神社前調整池の分電盤修理</p>

## □3年間の目標

目標	・水位計を活用し、調整池の適正な管理と治水の安全性を確保する。					
項目（単位）	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画	H27目標	H28目標
保守点検業務	実施	実施	実施	実施	実施	実施
ポンプ分電盤取替修繕				実施		

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27年度	保守点検維持管理を実施・
H28年度	保守点検維持管理を実施・

## ■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	7,571	3,803	3,898
(内特定財源)		千円	690	1,380	1,380
人工	職員	人工	0.26	0.25	0.20
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.26	0.25	0.20

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
奈良子川調節池管理委託金	690	
昭和川調節池管理委託金	690	
合計	1,380	

## ■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)をめざす。

水位計の設置したことにより調整池の適正な管理と治水の安全性を確保する。



## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 余野神社前調整池の分電盤の修繕を行った。
- 調整池（余野1号、2号、奈良子調整池）については、住民活動団体への除草作業を委託した。
- 余野2号調整池流入箇所河床が劣化したことによるコンクリート補修を行った。
- 余野2号調整池防護フェンスの修繕を行った。

## ■ 評価

- 定期点検の実施による故障箇所の修繕及び調整池の除草作業等により、適正な管理が図られた。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	建設課 (H26 建設農政課)	No.	9
事業名	調整池整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、集中豪雨等による水害を減少させるために雨水貯留施設を整備する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調整池整備工事計画・基本設計</li> <li>・ 調整池整備工事詳細設計</li> <li>・ 調整池整備工事</li> <li>・</li> </ul>		
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新川流域水害対策計画に基づき、5千㎡分の調整池整備が必要である。</li> <li>・ 調整池の整備には、排水系統に合致した位置にまとまった用地が必要となる。</li> </ul>		
平成 26 年度 の目標又は 改善策	替地三丁目地内に確保されている公園建設用地に地下式調整池を建設する。		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	調整池整備工事発注（交付金事業）は、総合評価落札方式の制限付一般競争入札となる。
6	県総合評価審査委員会部会審査
7	入札告示
9	契約（9月議会契約議決）
~3	工事

## □3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・替地三丁目地内に調整池を整備することにより、この地域の水害を防ぐ。</li> <li>・長期的な調整池整備計画の策定</li> </ul>					
項目（単位）	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画	H27目標	H28目標
調整池の整備計画		基本設計	詳細設計			
調整池整備工事				工事实施		

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27年度	・
H28年度	・

## ■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	7,770	19,751	91,000
(内特定財源)		千円	0	0	90,000
人工	職員	人工	0.26	0.25	0.25
	臨時職員	人工	0.00	0.00	0.00
	計	人工	0.26	0.25	0.25

## ■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
社会資本整備総合交付金	30,000	
明日のまちづくり基金繰入金	60,000	
合計	90,000	

## ■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	委託料	23,625	12,411	調整池の詳細設計を実施

## ■特記事項

H25 に詳細設計の費用、H26 に工事費として多額の予算が必要となるが、基金の利用と特定財源として社会資本整備総合交付金(補助率 1/3)を受ける。

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

○新川流域水害対策計画に基づき、替地三丁目地内確保されている公園建設用地に地下式調整池（貯留能力500m<sup>3</sup>）の建設を行った。

## ■ 評価

○調整池を設置することによる、豪雨による周辺地域の浸水被害の軽減を図ることができた。また、新川流域水害対策として、河川への負担軽減を図ることができた。